

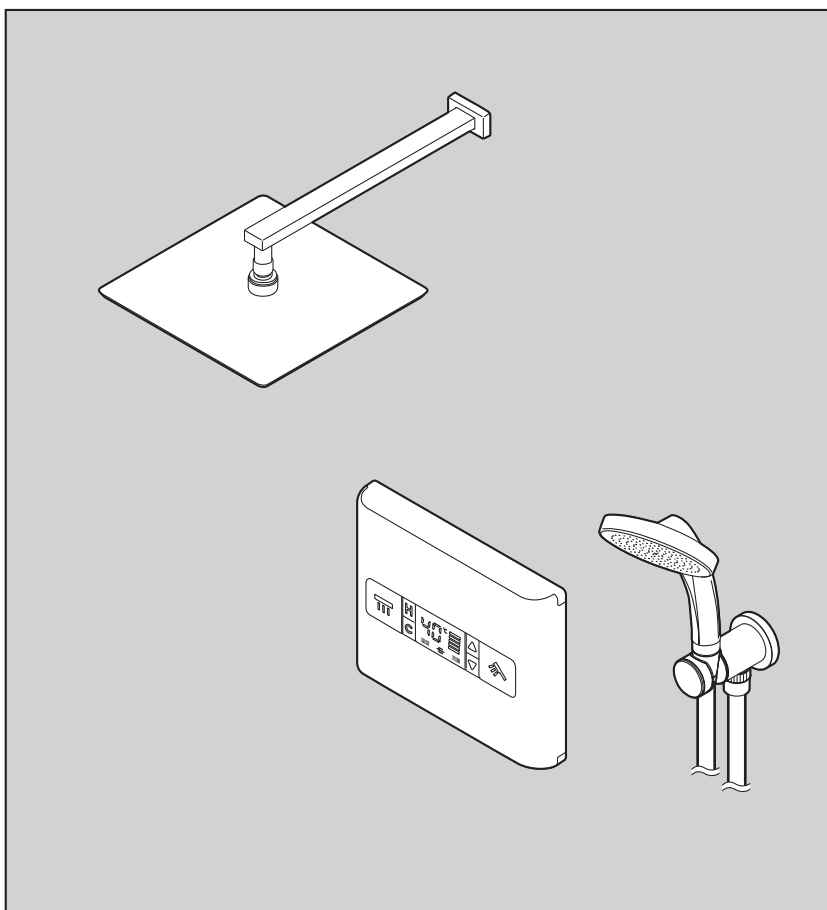
toccata

サーモシャワー混合栓（タッチ式）

.....ESK980-1S型

施工・取扱説明書

施工、ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称 1

施工について

施工に関する安全上のご注意 2~3

適切な使用条件 4

施工前のご注意 4

梱包明細 5

施工手順 6~15

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意 16~18

普段の使い方 19~20

チャイルドロックの設定 21

シャワーヘッドの水滴について 21

オーバーヘッドシャワーの使用方法 22

凍結予防 22

凍結予防モード 22

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り 23

オーバーヘッドシャワー・シャワーヘッドの掃除 23

定期的な点検

可動部分の点検 24

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ 24

定期的な部品交換

逆止弁の交換時期 25

こんなときは

エラー番号とリセットについて 26

故障？ その前に 26

本製品の構造 27

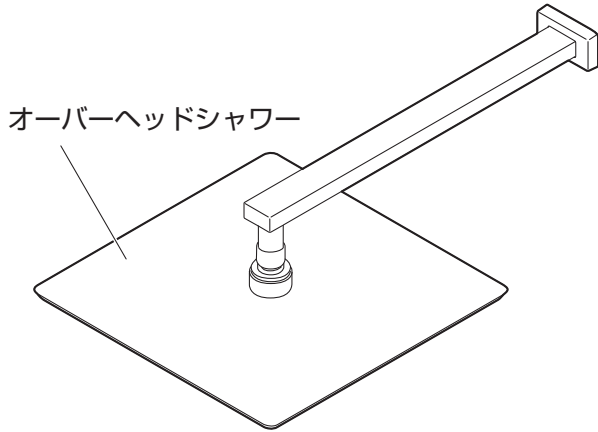
保証とアフターサービス

保証とアフターサービス 30

保証書 裏表紙

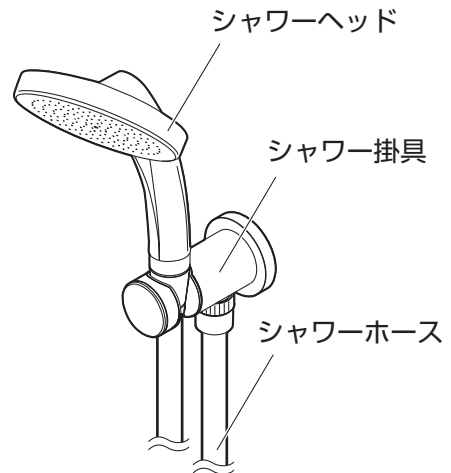
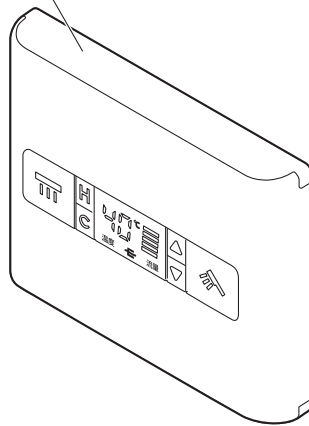
本製品について 各部の名称

- 本製品は、吐水パネルで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。



オーバーヘッドシャワー

操作パネル



シャワーヘッド

シャワー掛具

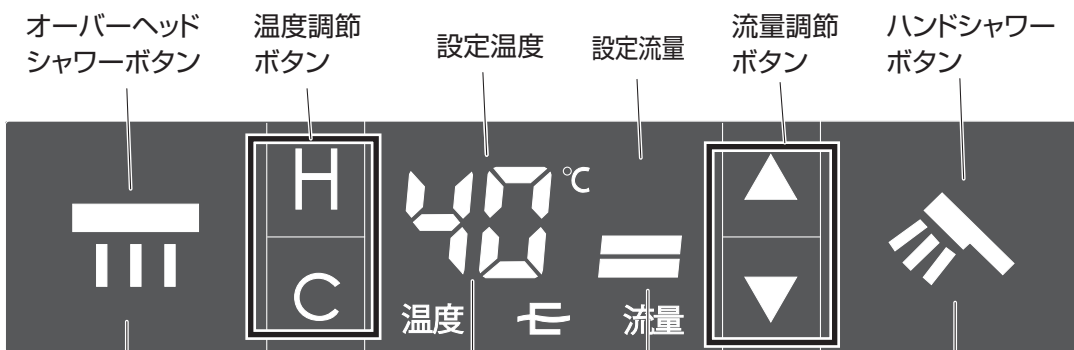
シャワーホース



注意

加飾製品は強くこすると、色落ちしたり、表面素材がはがれるおそれがありますのでご注意ください。

●操作パネルボタンと表示について



オーバーヘッド
シャワーボタン

温度調節
ボタン

設定温度

設定流量

流量調節
ボタン

ハンドシャワー
ボタン

止水時:消灯
吐水時:白色点灯
チャイルドロック時:オレンジ色点灯
凍結予防モード時:消灯

設定温度表示
(17段階):白色点灯





設定流量表示
(5段階):白色点灯

止水時:消灯
吐水時:白色点灯
チャイルドロック時:オレンジ点灯
凍結予防モード時:青色点滅

吐水・止水→P19・20、チャイルドロック→P21、凍結予防モード→P22

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

- 警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意なさい！」（上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  「分解してはいけません！」
-  「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告



電気工事は、必ず電気工事士の資格者が行ってください。
電気回路容量不足や工事不備があると、火災・感電の原因となります。



修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因となります。



交流電源 100V 以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



施工時に電源コードに断線、キズが発生した場合は、速やかに電源ユニットを交換してください。
火災・感電の原因となります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因となります。



湯水を逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをすることがあります。



給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



強度のある壁・建築構造体に取り付け、下地の厚みや補強が十分にあることを確認してください。

石膏ボード壁などの強度のない壁に取り付けると、取付部がはずれ、落下・けが・水漏れの原因になります。



取付完了後、製品にガタツキがないことを確認してください。

製品にガタツキがあると、落下・けが・破損の原因になります。



水に濡れるおそれがある箇所に施工する場合は、操作パネルに防水加工を行ってください。

水に濡れると、取付部がはずれ、落下・けが・破損の原因になります。

また、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧（流動時）	最高使用水圧（静止時）
	0.15MPa	0.6MPa

- 給水・給湯圧力が0.6MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は必ず給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.15MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10度以上高く設定してください。
設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力16号以上をおすすめします。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅・公共施設用

〔定格電圧〕

定格電圧	入力 AC100V 50/60Hz
------	-------------------

- 必ず電源スイッチを設けてください。

施工について 施工前のご注意

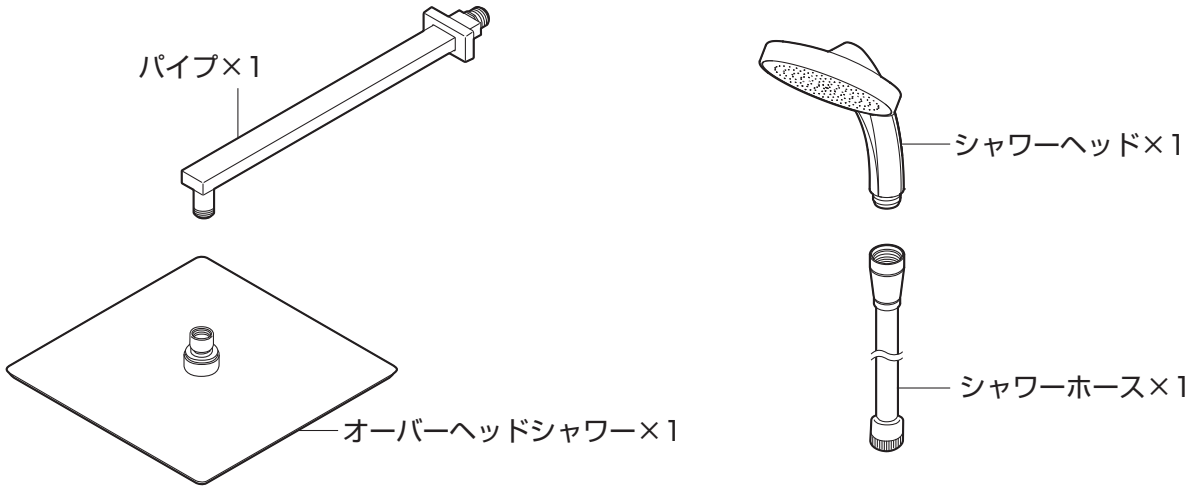
- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。



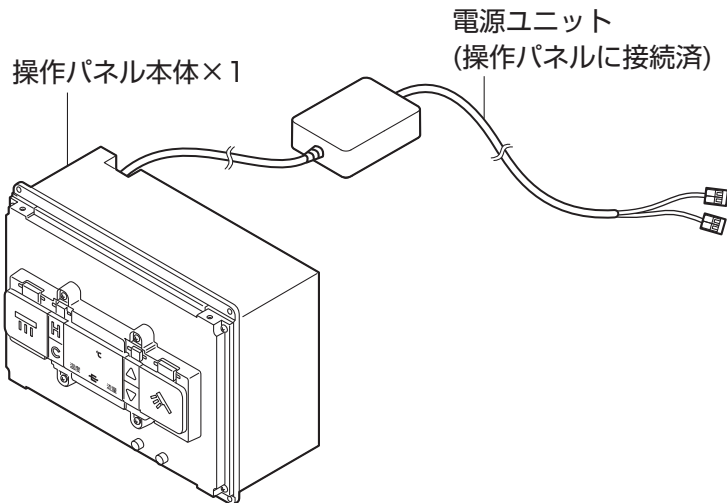
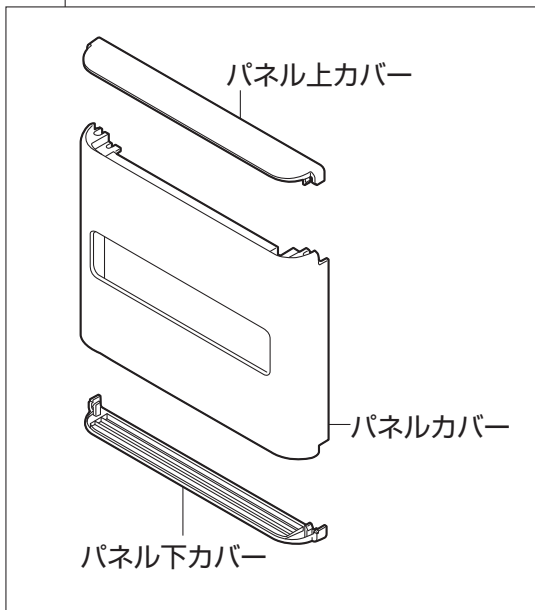
加飾製品は塗装がはがれやすいため、必ず柔らかい布などで製品表面を保護して作業を行ってください。

施工について 梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1



パネルカバーセット×1

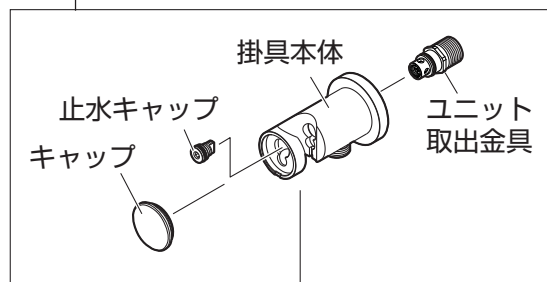


六角レンチ
(対辺4mm) × 1



シャワー掛具固定用工具です。
(止水キャップの六角穴に使用します。)

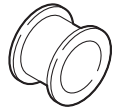
シャワー掛具組品×1



●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

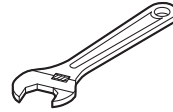
主な工具類

- シールテープ：
オーバーヘッドシャワー・接続金具を壁に取付ける際に必要です。



シールテープ
SANEI品番：
PP75-1S

- スパナ・モンキーレンチなど：
水栓のナットがまわせる工具。



水栓スパナ
SANEI品番：
PR3351

- 六角レンチ(対辺4mm、同梱品)：
シャワー掛け具を壁に取付ける際に必要です。

六角レンチ
(対辺4mm) × 1



- 使い古しのハブラシなど：
配管掃除ができるもの。



- 手袋：
ケガ防止のために着用してください。



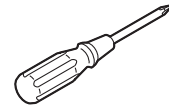
- タオルなど：
ケガ防止や水栓保護のために使用します。



- ぞうきんなど：
配管中の残り水を拭くのに使用します。



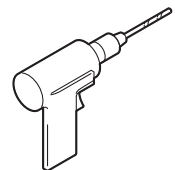
- プラスドライバー：
各部品の取付けに必要な工具。



- シーリング材：
操作パネルと壁面のすき間を埋める際に必要です。



- 電動ドリル：
シャワー掛具の取付けに必要な工具。



元栓がキー式の場合に必要な工具 (参照：P12)

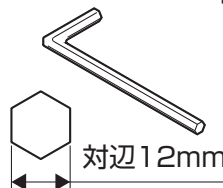
- 止水栓キー



配管中のザルボがはずれた場合に必要工具

- 六角レンチ

六角スパナ
SANEI品番：
PR35



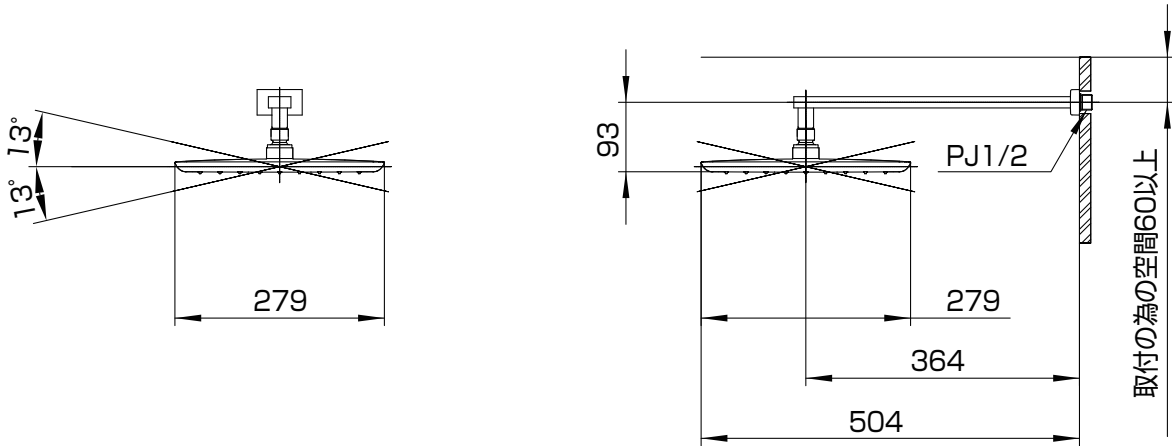
- プライヤー

水栓プライヤー
SANEI品番：
PR346-1S

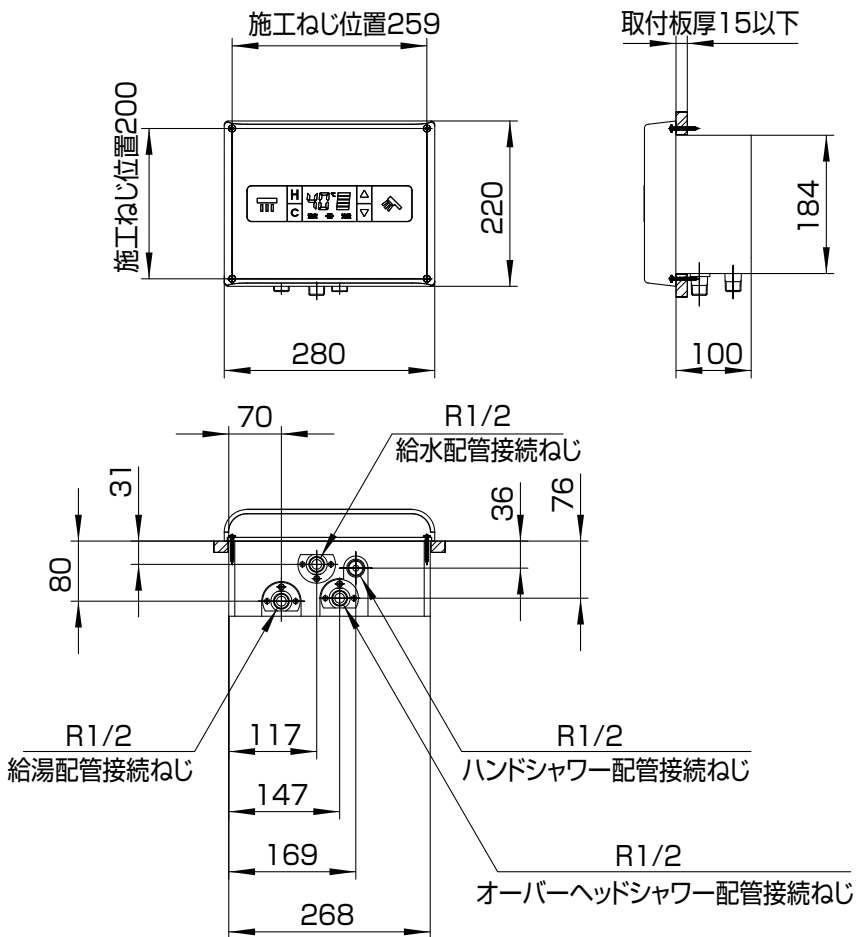


1 寸法図の確認

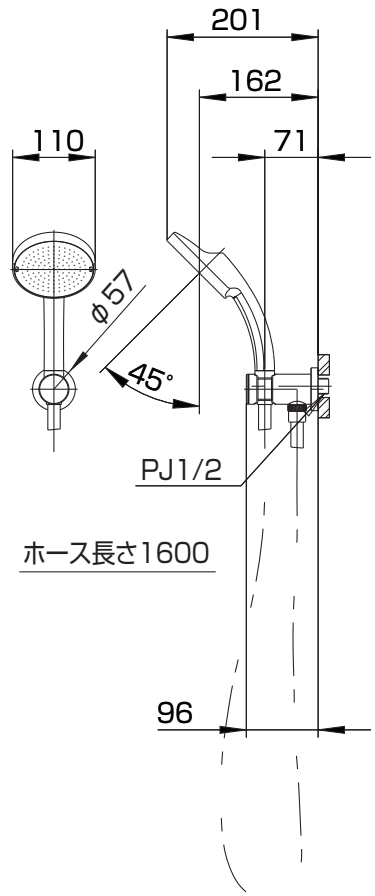
オーバーヘッドシャワー部



本体部

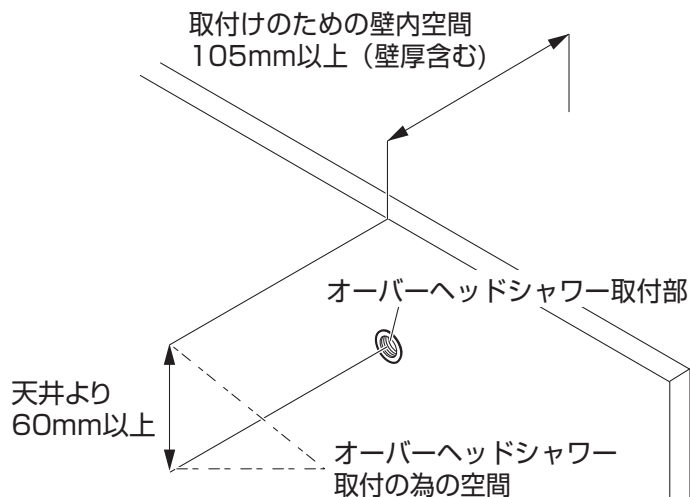


ハンドシャワー部



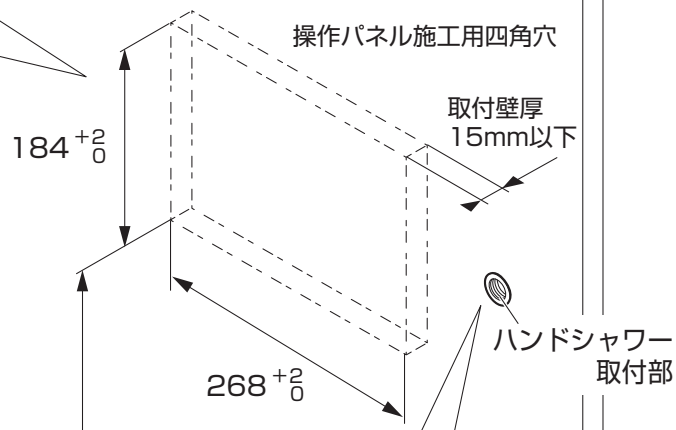
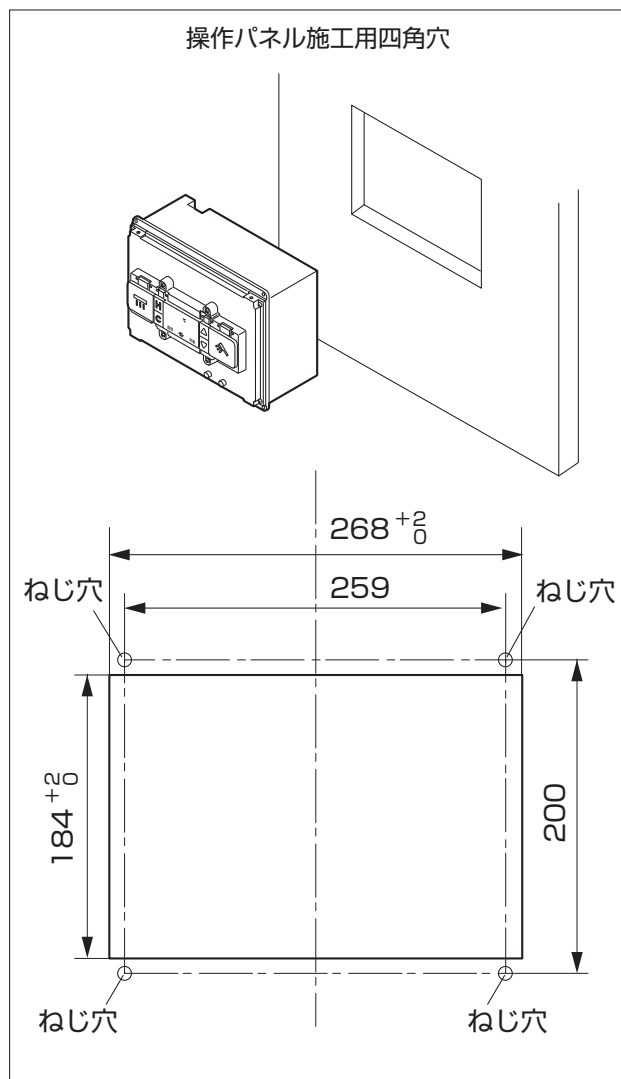
2 操作パネル・オーバーヘッドシャワー取付け位置の芯出しをします。

次のような下準備を行ってください。



注意

操作パネル取付部分の取付けに15mm以下の厚さで設定してください。

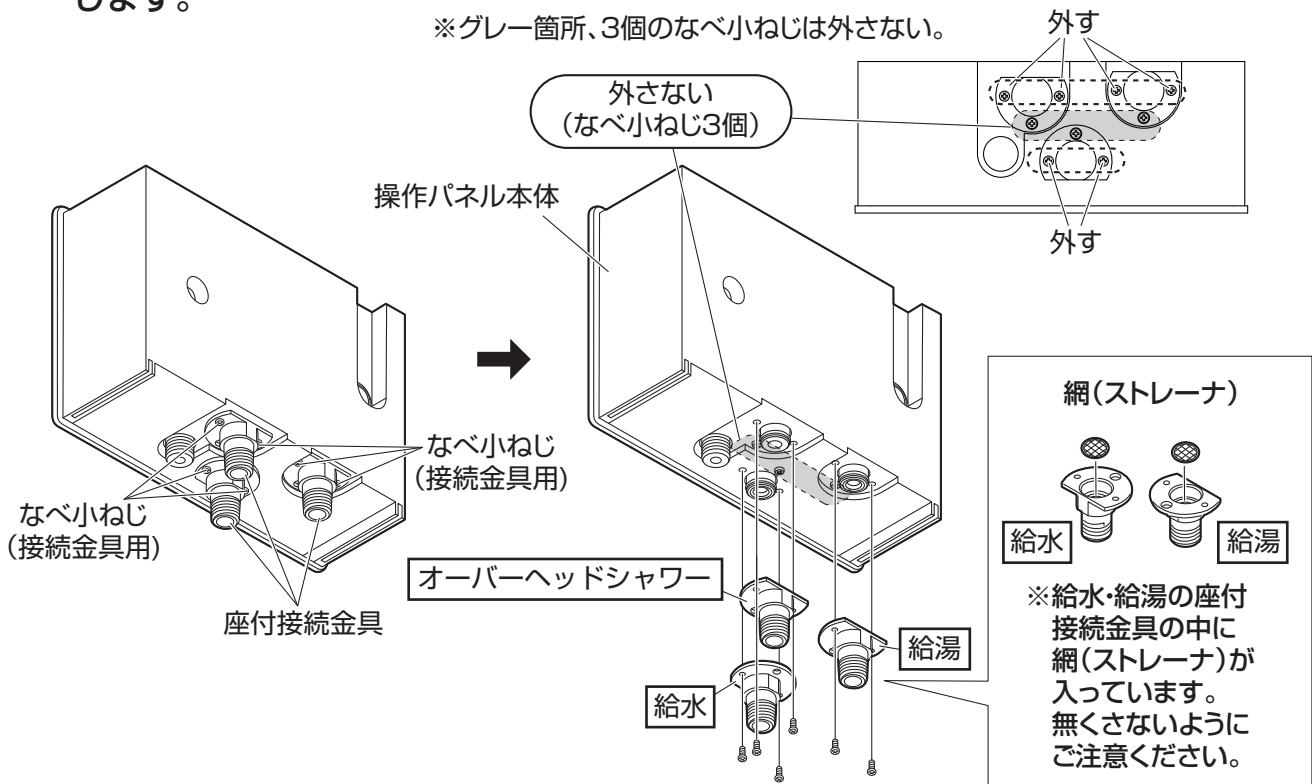


ハンドシャワー掛具の位置決めは、ご使用される方に合わせるなど、任意の位置に設定してください。

●各接合部には配管用シーリング材を使用してください。

3 なべ小ねじ(接続金具用) 6個を座付接続金具を操作パネル本体から取りはずします。

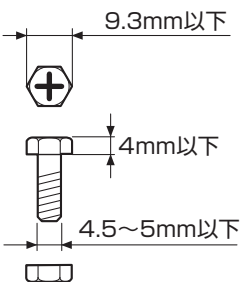
※グレー箇所、3個のなべ小ねじは外さない。



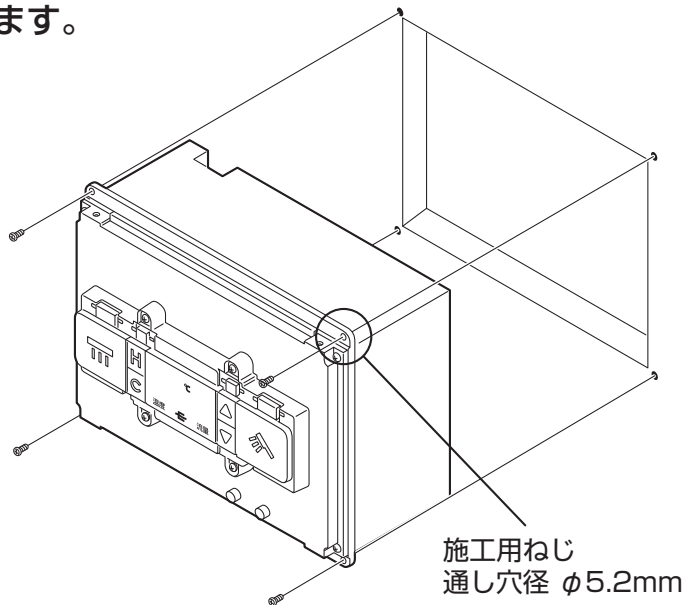
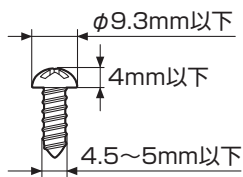
4 操作パネル本体を壁にねじで取付けます。

操作パネル本体を固定するねじを4本、施工条件に合わせて準備してください。

ボルト・ナットの例

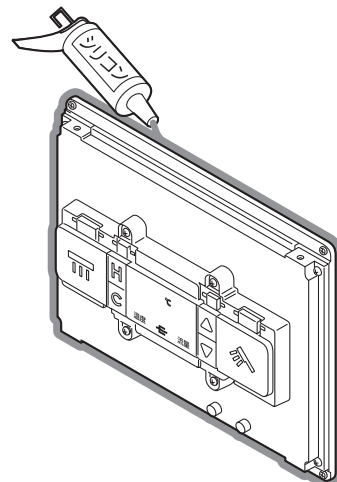
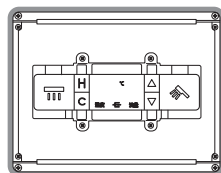


タッピンネジの例

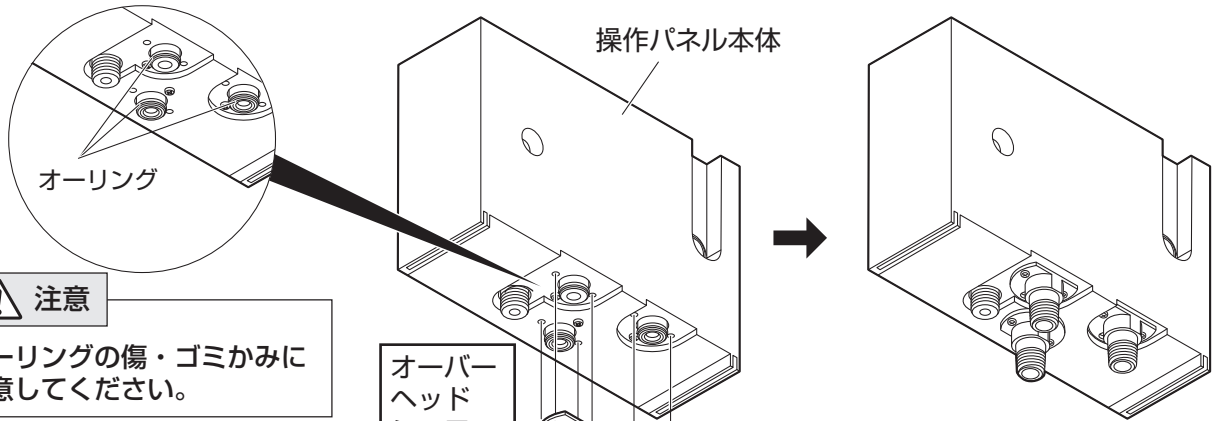


5 操作パネル本体と壁の隙間をコーキングします。

取付穴周囲にシーリング材を使用してください。
シーリング材を使用しないと壁裏へ水が侵入して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



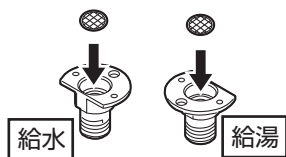
6 3で外したなべ小ねじ(接続金具用)6個で座付接続金具を操作パネル本体に固定します。



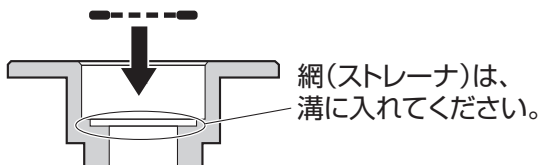
注意

オーリングの傷・ゴミかみに注意してください。

網(ストレーナ)



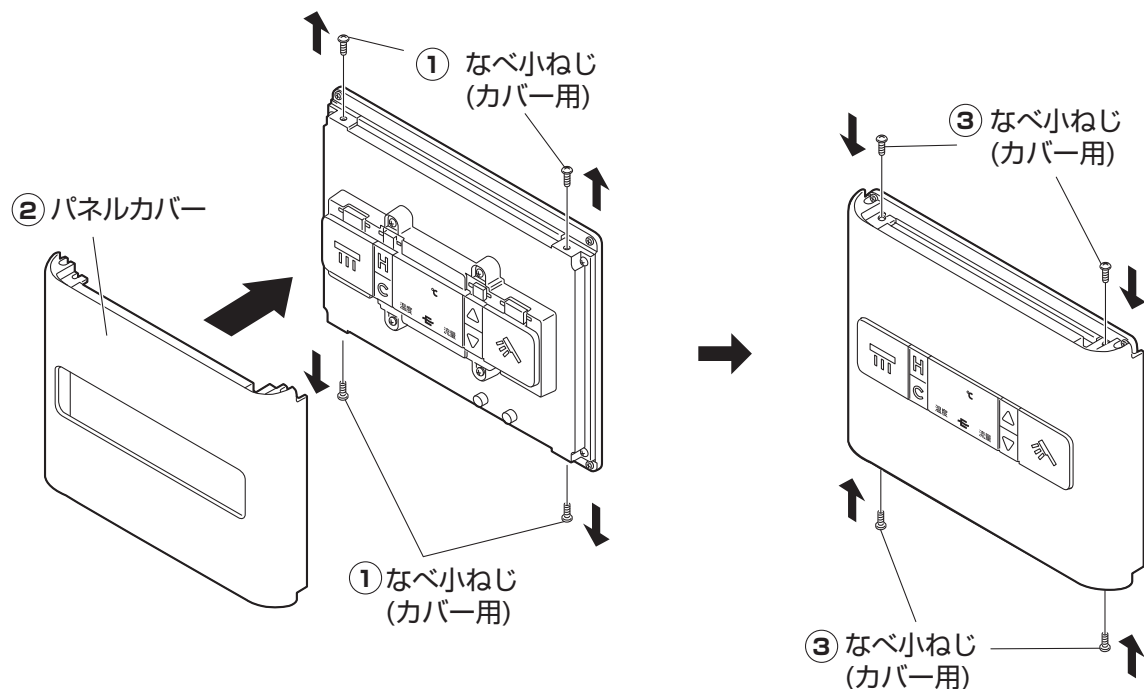
※網(ストレーナ)が外れた場合は、給水・給湯の座付接続金具に入れてから取り付けてください。



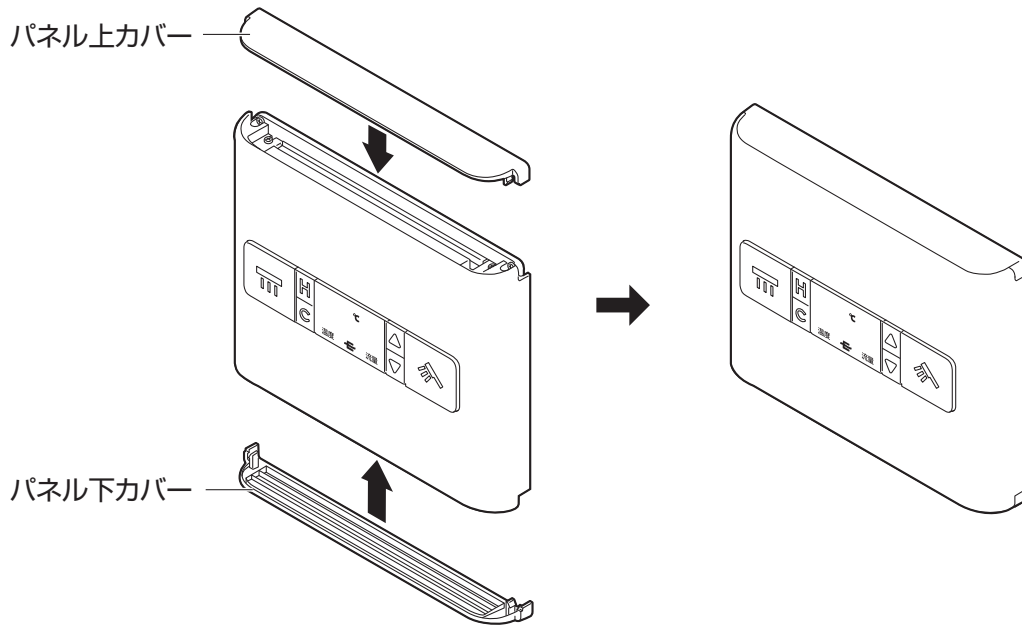
オーバーヘッドシャワー
給水
給湯
なべ小ねじ(接続金具用)

7 なべ小ねじ(カバー用)4個でパネルカバーを取付けます。

- ① なべ小ねじ(カバー用)4個を外します。
- ② パネルカバーを取付けます。
- ③ 外したなべ小ねじ(カバー用)4個で固定します。



8 パネル上カバー・パネル下カバーを取付けます。



9 電源ユニットを設置します。

※ あらかじめ、電源線 (芯線φ1.6及び2.0mm、VVFケーブル) の2芯 をご用意ください。

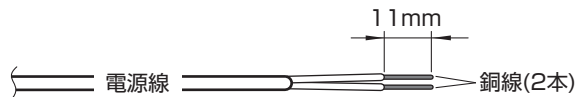


注意

電源配線工事に関して、必ずお守りください。

- 配線工事は、資格を持った電気工事が行ってください。
- 電源配線工事は必ず漏電ブレーカーを設置した配線にしてください。
漏電ブレーカーが設置していないと、故障時や漏電時に感電するおそれがあります。
- 電源側(AC100V)には必ず電源スイッチを設けてください。
- AC100V以外の電源では使用しないでください。
- 機器の改造は絶対におこなわないでください。
- ACアダプターの設置は、高温及び湿気を避け、水平な場所に固定して配線が引っ張られていないことを確認してください。
- 浴室の照明と連動させないでください。

(1) 電源線の先端部分を11mm皮むきします。



注意

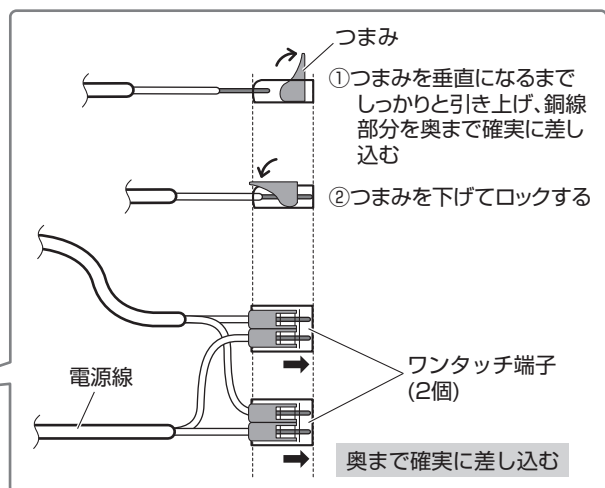
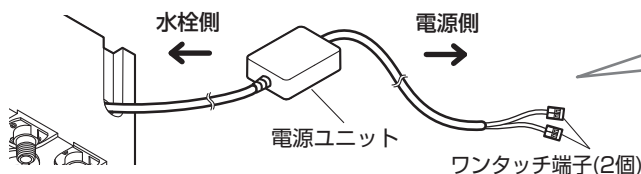
- 施工の際は、電源ユニットや電源線の端子部分が濡れないように注意してください。
故障や感電の原因になります。
- 電源線は、長さにゆとりを持たせて配線してください。

(2) 電源ユニットのワンタッチ端子(2個)のつまみを垂直になるまでしっかりと引き上げ、電源線の銅線(2本)をそれぞれワンタッチ端子(2個)の奥まで確実に差し込み、つまみを下げてロックします。



注意

- つまみを引き上げる際は、垂直になるまでしっかりと引き上げてください。
- 電源線の銅線部分は、最後までしっかりと差し込んでください。
差し込みが浅いと、はずれたり、漏電のおそれがあります。
- つまみを下げる際は、指を挟まないように注意してください。

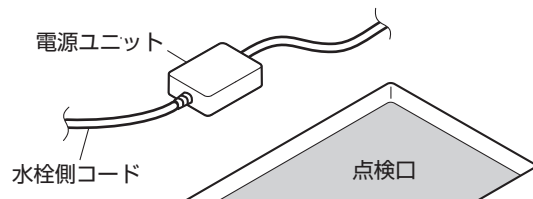


(3) 電源ユニット裏面の両面テープをはがし、天井の点検口近くに固定します。



警告

施工時に電源コードに断線、キズが発生した場合は、速やかに電源ユニットを交換してください。
火災・感電の原因となります。



10 取付け穴周囲のゴミを取り除きます。

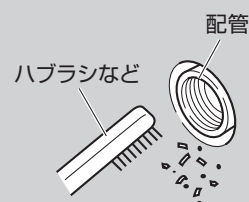
注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、
必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(元栓の閉め方については、下記を参照ください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。



●元栓を閉めて、水を止める方法

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

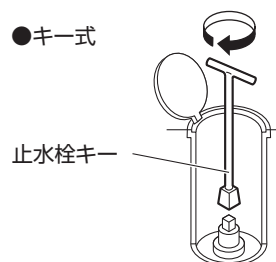
※一部の地域では左回しの場合があります。

※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

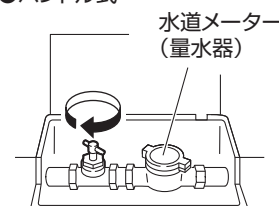
■戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形の
キー式ボックスがあったりします。

●キー式



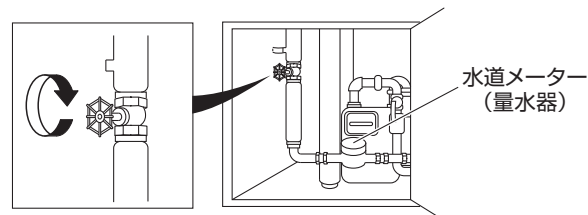
●ハンドル式



■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、
電気やガスのメーターと共に水道メーターと
元栓があります。

お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわから
ない場合は、水道料金の検針票などでご自分の
水道メーター番号を確認してください。



11 パネル本体に給水・給湯、各配管部材を取付けます。

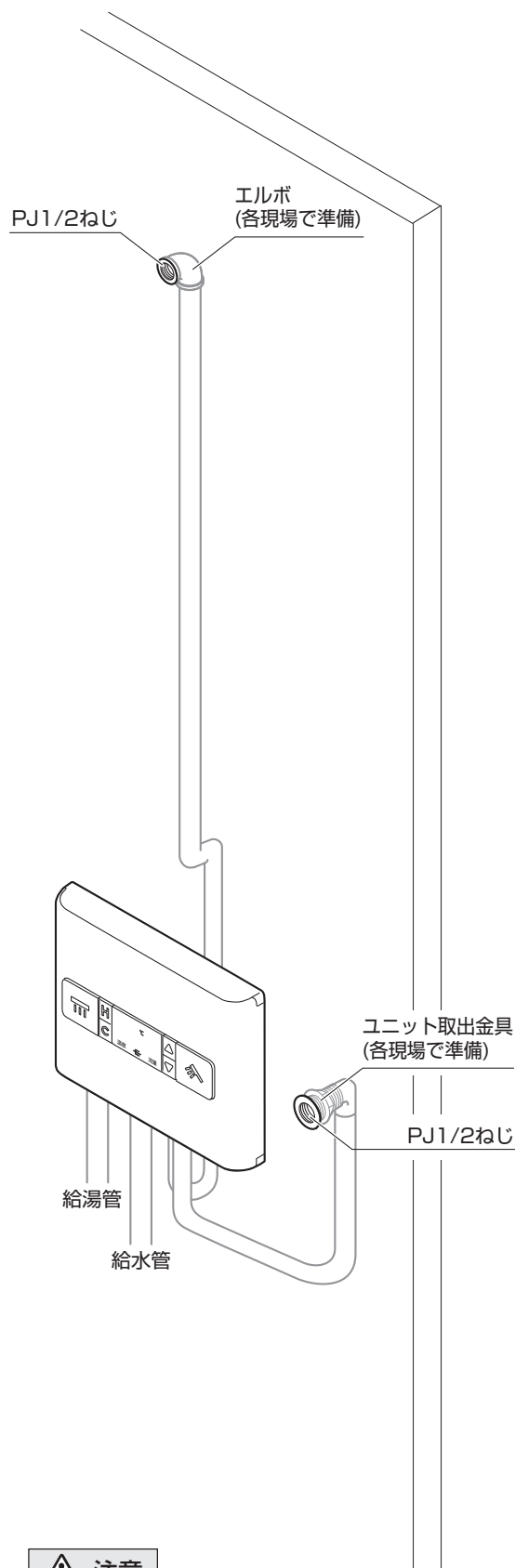
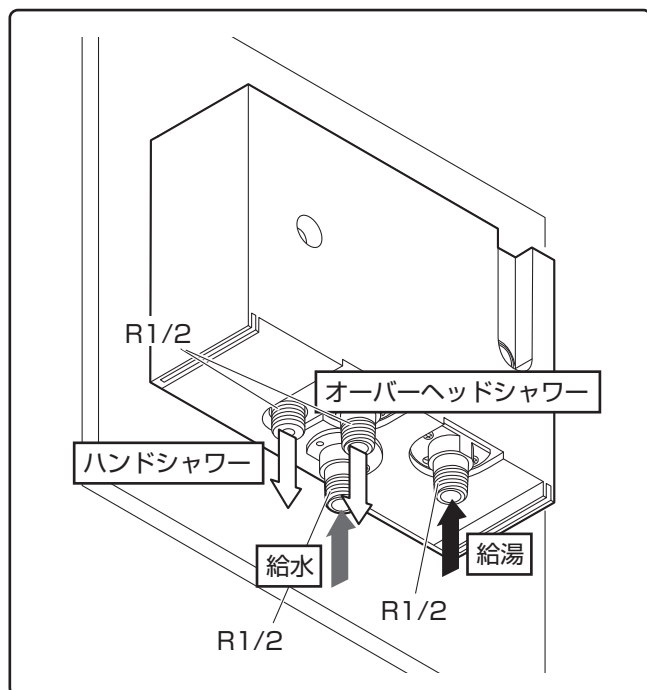
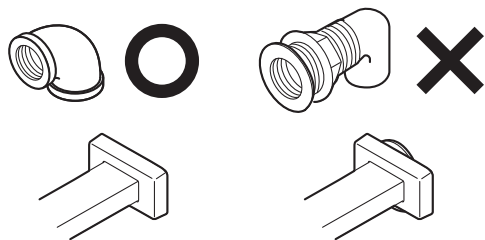
注意



接続後、通水して水漏れ点検を行ってください。

注意

オーバーヘッドシャワー側はユニット取出金具を使用しないでください。オーバーヘッドシャワーの座の寸法が 34mm×60mm のためユニット取出金具の座がはみ出し、仕上がりが悪くなるおそれがあります。

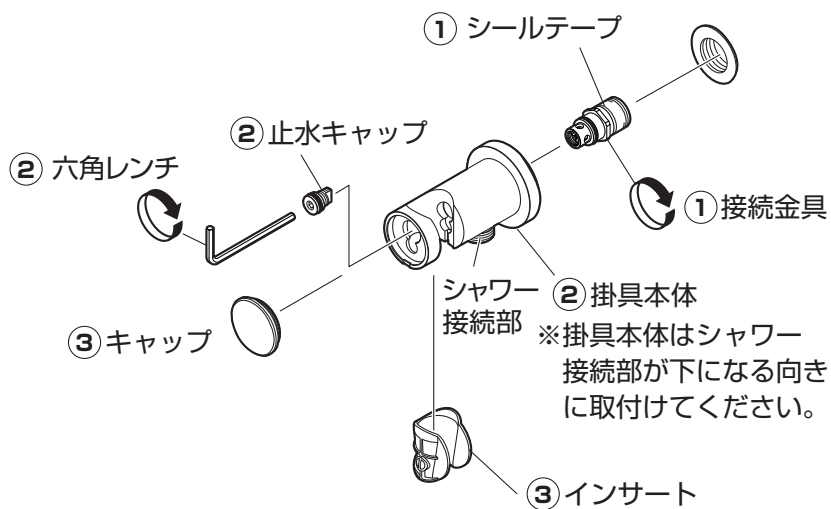


注意

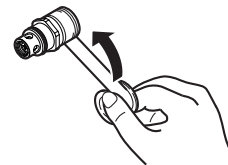
- 現場に合わせて、各配管をご用意ください。
- 接続箇所には必ず配管用シール材を使用してください。

12 シャワー掛具を取付けます。

- ① 接続金具にシールテープを巻き、モンキーレンチなどで配管に固定します。
- ② 掛具本体を取付け、掛具本体を付属の六角レンチで止水キャップで固定します。
- ③ インサートとキャップを取付けます。



⚠ 注意

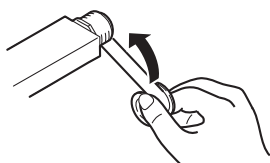


シールテープは正しい
方向に巻いてください。
逆に巻くとシールテープ
がゆるみ、漏水の原因と
なります。

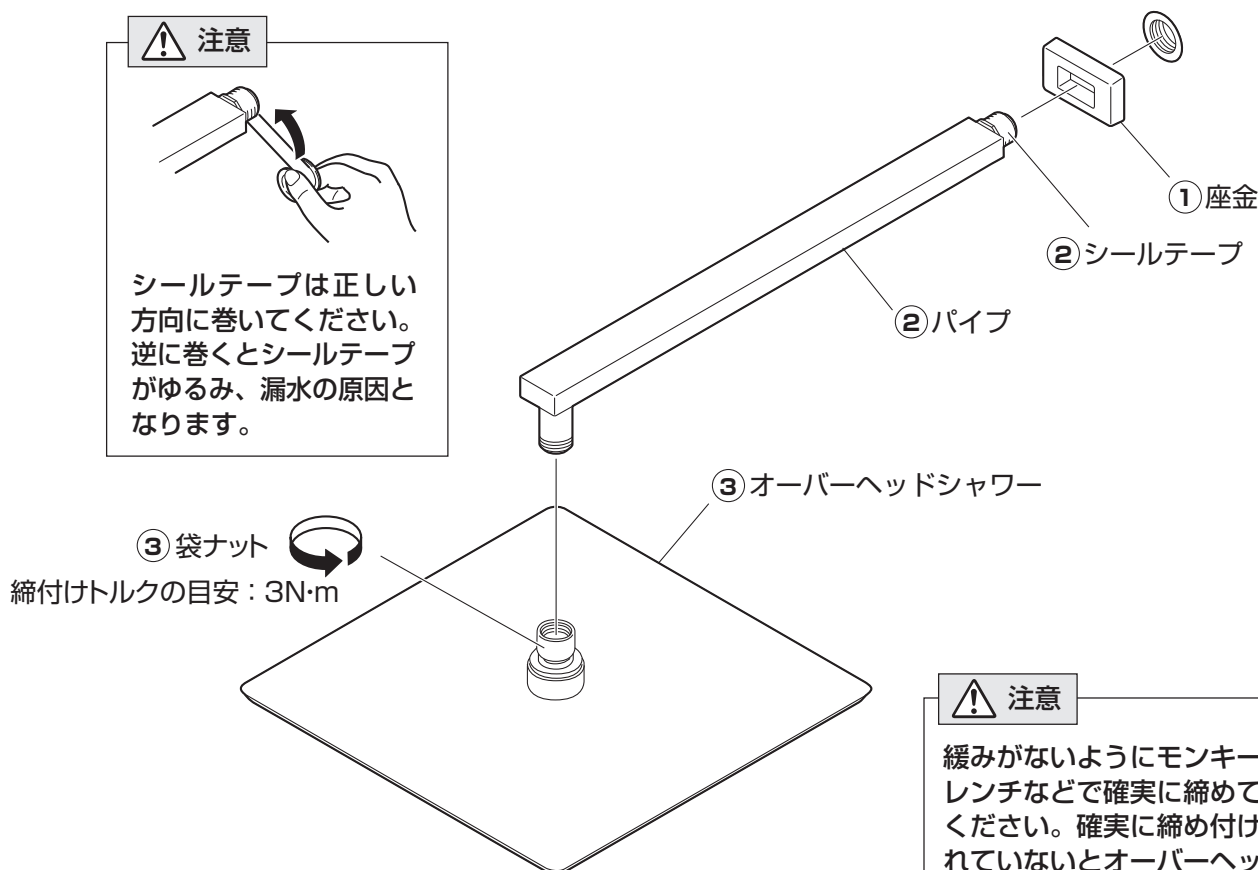
13 オーバーヘッドシャワーを取付けます。

- ① パイプに座金を取付けます。
- ② パイプにシールテープを巻いて配管を取付け、座金を壁と隙間がなくなるまでもどします。
- ③ モンキーレンチなどで袋ナットを回し、オーバーヘッドシャワーを確実に取付けます。

⚠ 注意



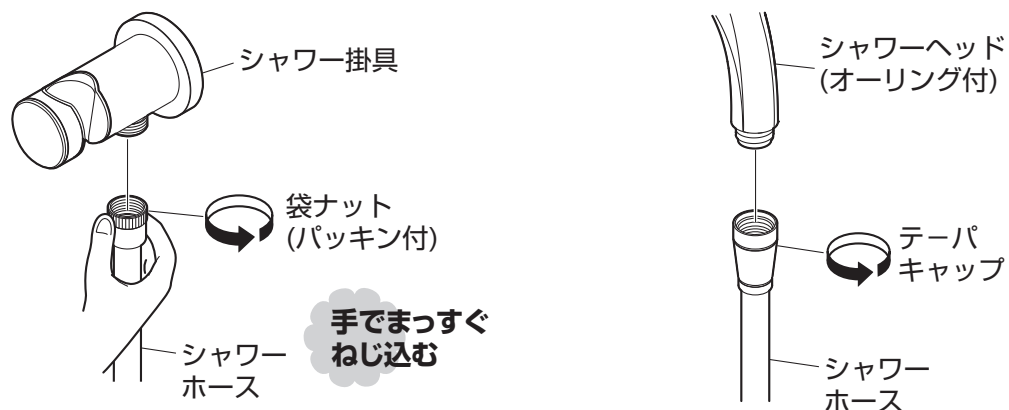
シールテープは正しい
方向に巻いてください。
逆に巻くとシールテープ
がゆるみ、漏水の原因と
なります。



⚠ 注意

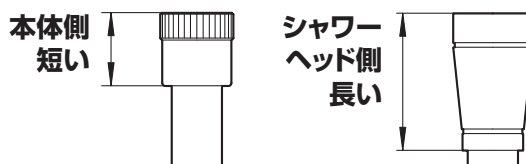
緩みがないようにモンキー
レンチなどで確実に締めて
ください。確実に締め付けら
れていないとオーバーヘッド
シャワーがはずれてけがを
するおそれがあります。

14 シャワーホース・シャワーヘッドを取付けます。



⚠ 注意

- シャワーヘッド・テーパキャップ・袋ナットは手でまっすぐにねじ込んでください。工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。
- 袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。
- 袋ナット・テーパキャップを間違えないでください。短い方が袋ナット(本体側)です。

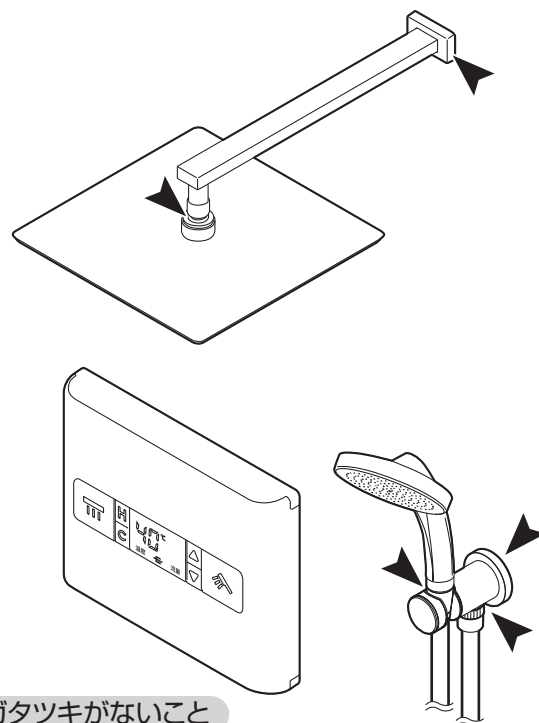
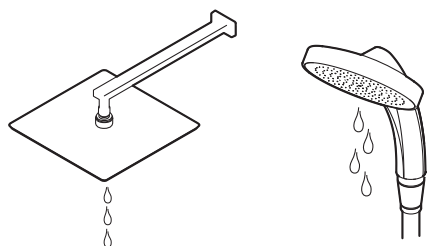


15 施工後、下記項目を点検してください。

- ・各部にガタツキがないことを確認する。
 - ・元栓を開いて各部に水漏れがないことを確認する。
 - ・温度調節、シャワ吐水・止水、流量調節機能が正常に作動することを確認する。(参照:P19~20)
- ※E03等のエラーが出た場合は、「エラー番号とリセットについて」(P26)を参照してください。

下記は異常や故障ではありません

止水後、シャワーから水滴がしばらく落ちることがありますが、シャワー内の残留水です。「シャワーヘッドの水滴について」(P21) 参照



ガタツキがないこと

確認



水漏れがないこと

正常に作動すること

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



…「注意しなさい!」(上記の「警告」・「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)



…「指示した場所に触れてはいけません!」



…「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)



…「してはいけません!」
(一般的な禁止記号です。)



…「分解してはいけません!」

警告



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

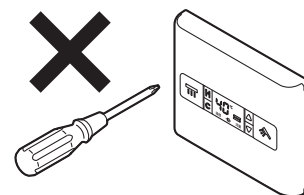


故障した場合は、速やかにご使用をやめて、修理をご依頼ください。
やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

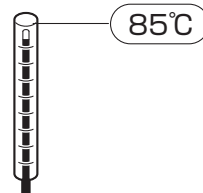
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(給湯器の設定温度について)

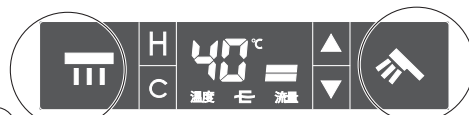
給湯温度は最高85℃まででお使いください。

85℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。



お使いになる前に、オーバーヘッドシャワー側のボタンか、ハンドシャワー側のボタンか確認してから押してください。

間違えると、やけどをするおそれがあります。



確認

確認

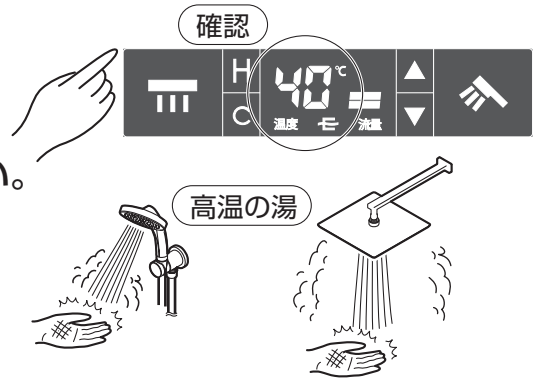
オーバーヘッドシャワー

ハンドシャワー

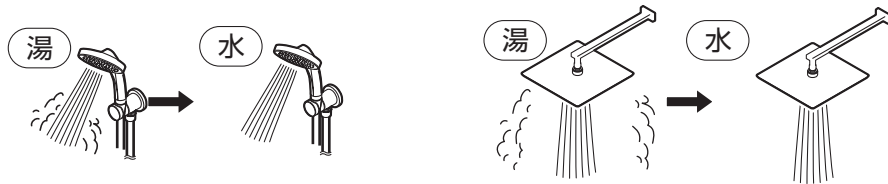
警告



温度調節表示を確かめて吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



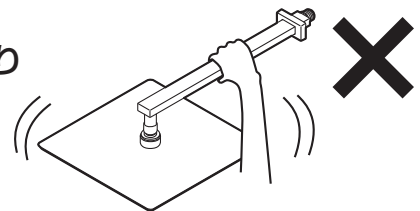
注意



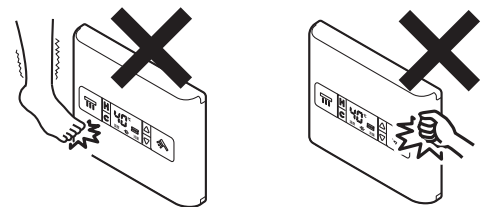
使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。



オーバーヘッドシャワーやパイプにぶら下がったり
強い力や衝撃を与えないでください。
取付部が破損し、けがや水漏れの原因になります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



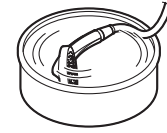
ボタン操作時に強い力や衝撃を与えないで
ください。
故障の原因となります。



⚠️ 注意



シャワーホースやシャワーヘッドを洗面器などに浸けたまま放置しないでください。汚水が器具に逆流するおそれがあります。



凍結が予想される場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P22

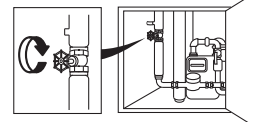
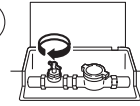


シャワー板が汚れた場合は掃除してください。シャワー板の目詰まりにより、散水不良が発生した場合は、器具の破損につながります。参照:P23
部品のお取替えも検討して頂くようお願いいたします。(この場合は有償修理となります。)



長期間使用しない時は、配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。

元栓



ボタンを押して水やお湯を出したり、ハンドルを回して水の温度や量を変えたりできます。

水温を調節するとき

■水温を調節する前に

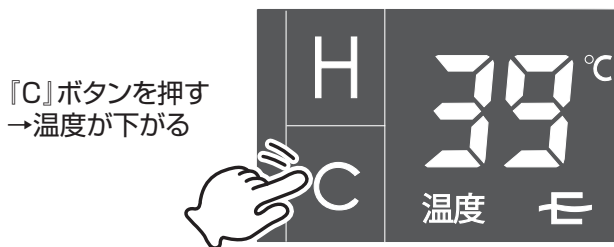
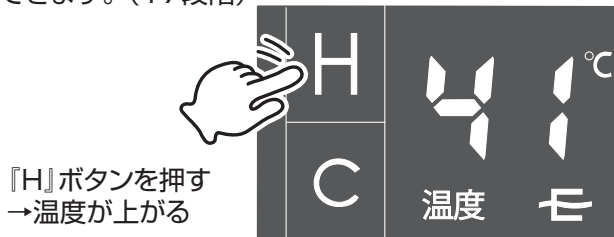
給湯機(給湯リモコンなど)の設定温度は、50~60℃をおすすめします。(誤操作などによるやけどの防止)

※電源投入時の初期設定温度は40℃です。

(待機状態では、温度のみ表示します。全ての表示を消すには、電源を切ってください。)

『C』・『H』ボタンで水温を調節する。

・設定温度は1℃ずつ変化し、C、35~50℃まで設定できます。(17段階)



43℃以上に温度を上げる。



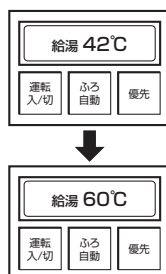
※やけど防止のため、50℃以上の設定はできません。

⚠ 注意

●高温の湯を使用した後は必ず、40以下に温度を戻してしばらく水を流してください。

■高温のお湯が出ないとき

給湯機(給湯リモコンなど)の給湯温度を 50~60℃に設定 した後、水温を調節してください。



水のみで使用する。

『C』ボタンを長押し
(2秒以上)する。→
水モード(C表示)



水モード(C表示)を解除する。

『H』ボタンを長押し
(2秒以上)する。
→直前の設定温度に
戻る。



※直前の設定温度が43℃以上の場合、初期設定40℃に戻ります。

⚠ 注意

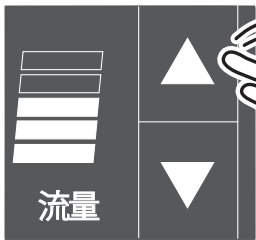
水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと、瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合、設定流量を最大に(吐水量を多く)するか、給湯機の温度設定を下げてください。

本製品は給湯機の設定温度が優先されるため、設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。

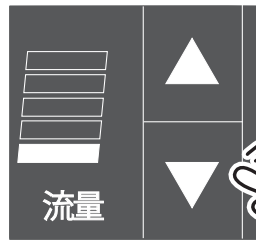
設定・調整作業は承っておりますが、有料作業となります。(作業費として、「技術料」+「部品代」+「出張料」を請求させていただきます。) 実作業を伴わずに復旧した場合は、「出張料」のみの請求となります。

流量を調節するとき

流量調節ボタンを押す。



△ボタンを押す
→流量が多くなる。



▽ボタンを押す
→流量が少なくなる。

※5段階で調節できます。

設定流量と吐水について

- ・設定流量は、オーバーヘッドシャワー及びハンドシャワーそれぞれの流量設定になります。
- ・オーバーヘッドシャワー及びハンドシャワーを交互に使用されても、それぞれの設定流量を記憶しています。
- ・設定流量は、吐水中でのみ設定変更が可能です。(止水中は操作出来ません)

シャワーから水(湯)を出したいとき

オーバーヘッドシャワーボタンを押す。



白色点灯

ランプが白色点灯し、水(湯)が出続けます。

- 止めたい時は、もう一度ボタンを押す。(約10分経つと、自動で停止します)

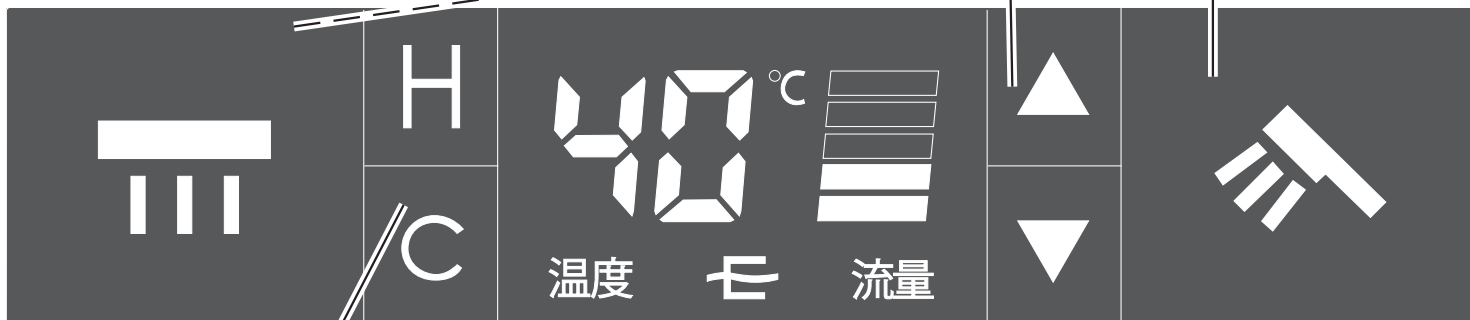
ハンドシャワーボタンを押す。



白色点灯

ランプが白色点灯し、水(湯)が出続けます。

- 止めたい時は、もう一度ボタンを押す。(約10分経つと、自動で停止します)



オーバーヘッドシャワーボタン

温度調節ボタン

設定温度

設定流量

流量調節ボタン

ハンドシャワーボタン

⚠ 注意

ボタン操作時に、強い力や衝撃を加えないでください。故障の原因となります。

その他操作パネルの機能について

- ・止水状態で5分間スイッチ操作がない場合、更に直前の設定温度が43℃以上だった場合は、安全のため40℃初期設定に戻ります。
- ・吐水中に何もスイッチ操作がない場合は、10分間で自動止水します。
- ・オーバーヘッドシャワー及びハンドシャワーの同時吐水は出来ません。
- ・1時間使用がない場合、自動的に機器内の原点合わせモードが入り、温度表示部に回転マークが表示されます。その間(数秒間)は使用できません。回転マークが消えれば使用可能となります。
- ・停電時は、自動止水します。電源復帰次第、使用可能となります。

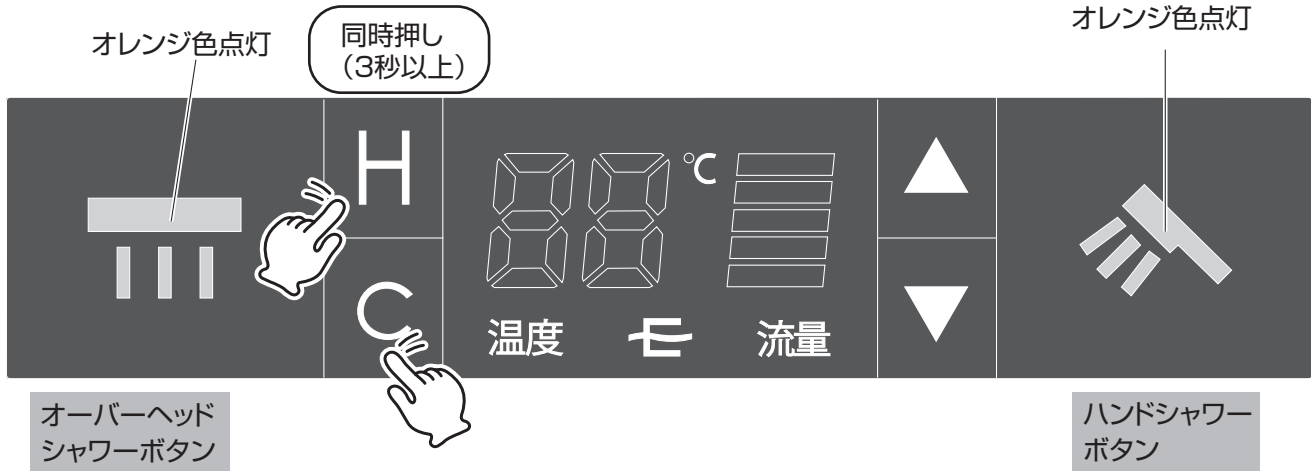
ご使用について チャイルドロックの設定

小さいお子様がボタンを押しても水(湯)が出ないようにすることができます。

『H』ボタンと『C』ボタンを同時に長押し(3秒以上)する

オーバーヘッドシャワーボタン・ハンドシャワーボタンがオレンジ色点灯し、チャイルドロックが掛かります。

※ロック時は、ロック解除以外のスイッチ操作を受け付けません。



■チャイルドロックを解除するとき
もう一度、同時に長押し(3秒以上)する
シャワーボタンが消灯し、チャイルドロックが解除されます。

ご使用について シャワーヘッドの水滴について

注意

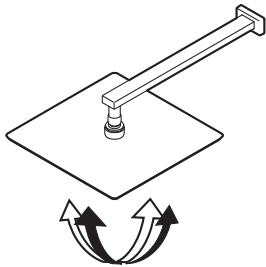
止水後、オーバーヘッドシャワー・シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちることがあります。これはシャワー内部の残留水であり、一定時間だけの現象であれば異常ではありません。
水滴が落ちる要因は、落ちる位置によって異なります。(下表参照)
シャワーヘッドの場合は、それぞれの現象に合った対処を行ってください。

水滴の落ちる位置	考えられる要因	対処
	<p>使用後の水がシャワー散水板の表面張力により滞留しています。 振動や浴室ドアの開閉による気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。</p> <p style="text-align: center;">(気圧の変化など)</p>	<p>(ハンドシャワーの場合)</p> <p>よく振る</p> <p>(オーバーヘッドシャワーの場合)</p> <p>水平にして使用する</p>
	<p>シャワーヘッドを浴槽や洗面器に浸けるなどすると、シャワーヘッドの隙間から水が浸入することがあります。 この水が外装部の隙間から流れ出ることがあります。</p> <p style="text-align: center;">(水の浸入)</p>	<p>シャワーヘッドをよく振る</p>

ご使用について

オーバーヘッドシャワーの使用方法

オーバーヘッドシャワーは角度を変えることができます。



⚠ 注意

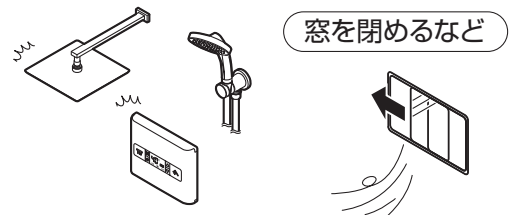
- パイプやアームを手すり代わりに持ったり、ぶら下がったりしないでください。取付部が破損し、けがや水漏れの原因になります。
- オーバーヘッドシャワーを回したり、むやみに動かしたりしないでください。
- オーバーヘッドシャワーやアームを無理に回したり、力を与えないでください。取付部がはずれたり、シャワー部や壁がこわれて、けがや水漏れの原因になります。
- オーバーヘッドシャワーの角度によっては、止水しても水が止まるまで時間がかかることがあります。

ご使用について

凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



ご使用について

凍結予防モード

水抜栓がない場合、凍結予防モード(下記参照)によって、10時間の少量吐水することにより凍結予防できます。

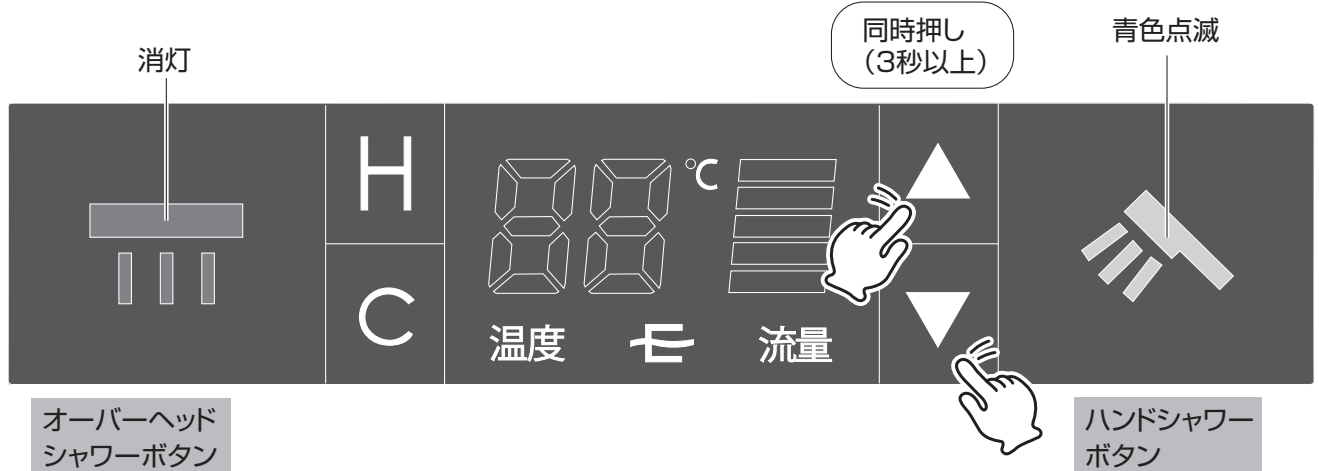
止水状態にて『△』ボタンと『▽』ボタンを同時に長押し(3秒以上)する

ハンドシャワーボタンが青色点滅し、凍結予防モードになります。(10時間少量吐水)

※凍結予防モード中は、ハンドシャワー流量1で吐水しています。

また、機器内にてモーター動作しておりますが、異常ではありません。

凍結予防モードで
10時間少量吐水



■凍結予防モードの解除

10時間経過もしくはいずれかボタンを押すと、青色消灯と同時に解除されます。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

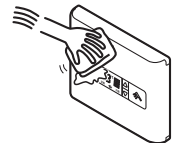


- 中性洗剤以外は使用しないでください。
- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
 - ・酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ・ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - ・クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ・ナイロンたわし・メラミンフォームなど
 製品の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。
製品の割れや変色変質の原因となります。

すぐ拭く

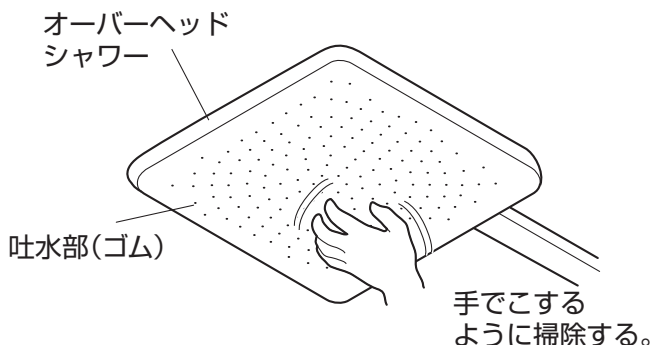


加飾製品は強くこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれるおそれがありますので、ご注意ください。

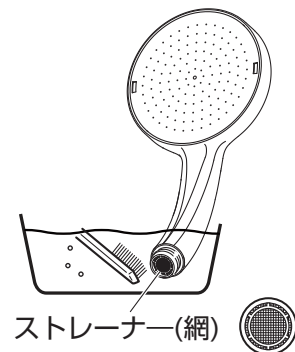
日頃のお手入れ オーバーヘッドシャワー・シャワーヘッドの掃除

オーバーヘッドシャワー・シャワーヘッドの汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- シャワーの目詰まりは吐水部がゴムのため、細かいゴミは手で取り除くことができます。



- シャワーヘッドをホースから取り外し、取付ネジ部を水につけながらハブラシなどでストレーナー(網部分)を掃除します。



⚠ 注意

- 表面を傷つけないように注意して掃除してください。
- シャワーを取り付ける際は、オリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- シャワー板の目詰まりにより、散水不良が発生してきた場合は、器具の破損につながります。部品のお取替えも検討して頂くようお願いいたします。(この場合は有償修理となります。)

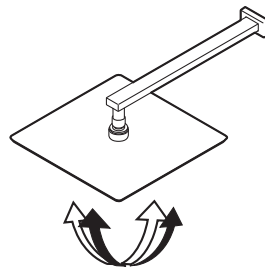
定期的な点検

可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。

日頃から、ときどきオーバーヘッドシャワーを動かしてください。(月1回を目安)

オーバーヘッドシャワーを長期間動かさずに使用すると水あかなどが付着し、無理に動かそうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。



動作異常が発生した場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な点検

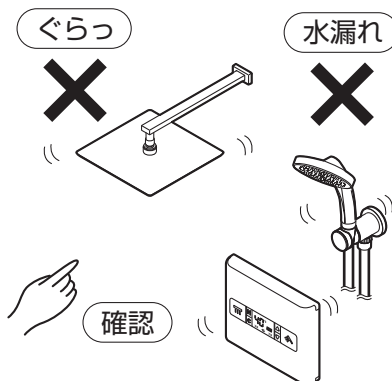
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照してください。



元栓の閉め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

※一部の地域では左回しの場合があります。

※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

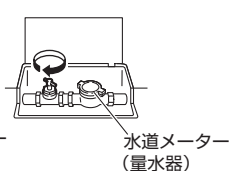
■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあつたりします。

●キー式



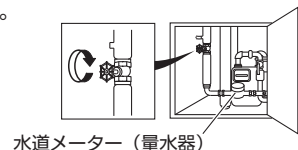
●ハンドル式



■ マンションなどの

中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。逆止弁の交換は、「保証とアフターサービス」(P30)を参照の上ご依頼ください。

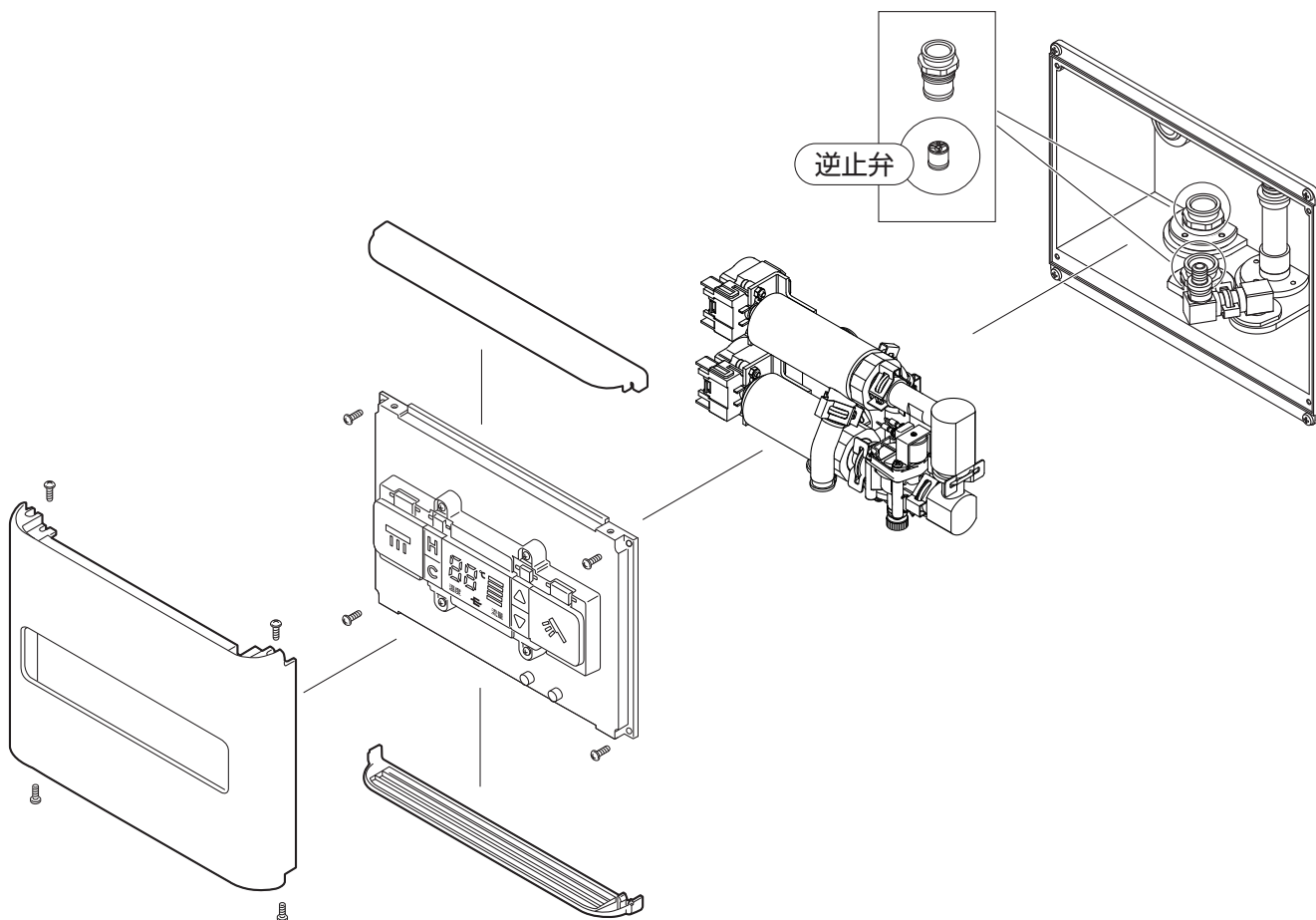
※交換時期は、使用環境などにより異なります。



警告



- 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
- 作業の際は、ブレーカーを落とし、元栓を締めてください。
- 修理の際、コードの差間違いなどに注意してください。
火災・感電・故障・漏水の原因になります。

※本ページに記載のイラストは、逆止弁の位置を理解いただくためのもので、部品として注文いただける単位のものではありません。



こんなときは エラー番号とリセットについて

温度表示の箇所にE2等の表示が点灯が出る場合は、エラー番号を元に、下記の処置をとってください。

エラー番号	エラー内容	点検項目	処置
E1	漏水検知	—	処置①
E2	温度センサー異常	—	処置②
E3	温度異常 (設定温度と吐水温度のずれが大きい)	<ul style="list-style-type: none"> 元栓は開いていますか。 給湯機から湯がきていますか。 給湯温度が低すぎませんか。 給水・給湯圧力は適切ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 元栓を開ける。(参照:P24) 給湯機の設定温度・作動を確認する。(参照:P19) 給湯機の設定温度・作動を確認する。(参照:P19) 給水・給湯圧力を確認する。(参照:P4)  それでも直らない場合は、処置②
E5	高温出湯検知 (吐水55℃以上を検知)	—	<ul style="list-style-type: none"> (55℃以下になり)回復するのをしばらく待つ。  それでも直らない場合は、処置②
E7	通信異常	—	処置②

処置①…配管中の元栓を閉め、電源を切るかブレーカーを落としたうえ、お買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。「保証とアフターサービス」(P30)参照

処置②…「H」「C」「△」「▽」ボタンを10秒以上同時押しして、機器をリセットしてください。



リセット
4ボタン同時押し10秒以上

リセットしてもエラー番号が表示される場合は、配管中の元栓を閉め、電源を切るかブレーカーを落としたうえ、お買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。「保証とアフターサービス」(P30)参照

こんなときは 故障？ その前に

- 漏水した場合は、配管中の元栓を閉めてください。(P24 元栓の閉め方参照)
- 修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	ゴミづまりはありませんか。	シャワーヘッドの掃除をする。参照：P23
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。参照：P19
温度調節がうまくできない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。参照：P19
シャワーヘッドから水滴が落ちる	一定時間経過で水滴が落ちなくなりましたか。	シャワーヘッド内の残留水で異常ではありません。参照：P21
ボタンを押しても反応しない またはランプが正常に点灯しない	停電中ではありませんか。	回復するまで待つ。
ボタンを押しても吐水しない	断水中ではありませんか。	回復するまで待つ。

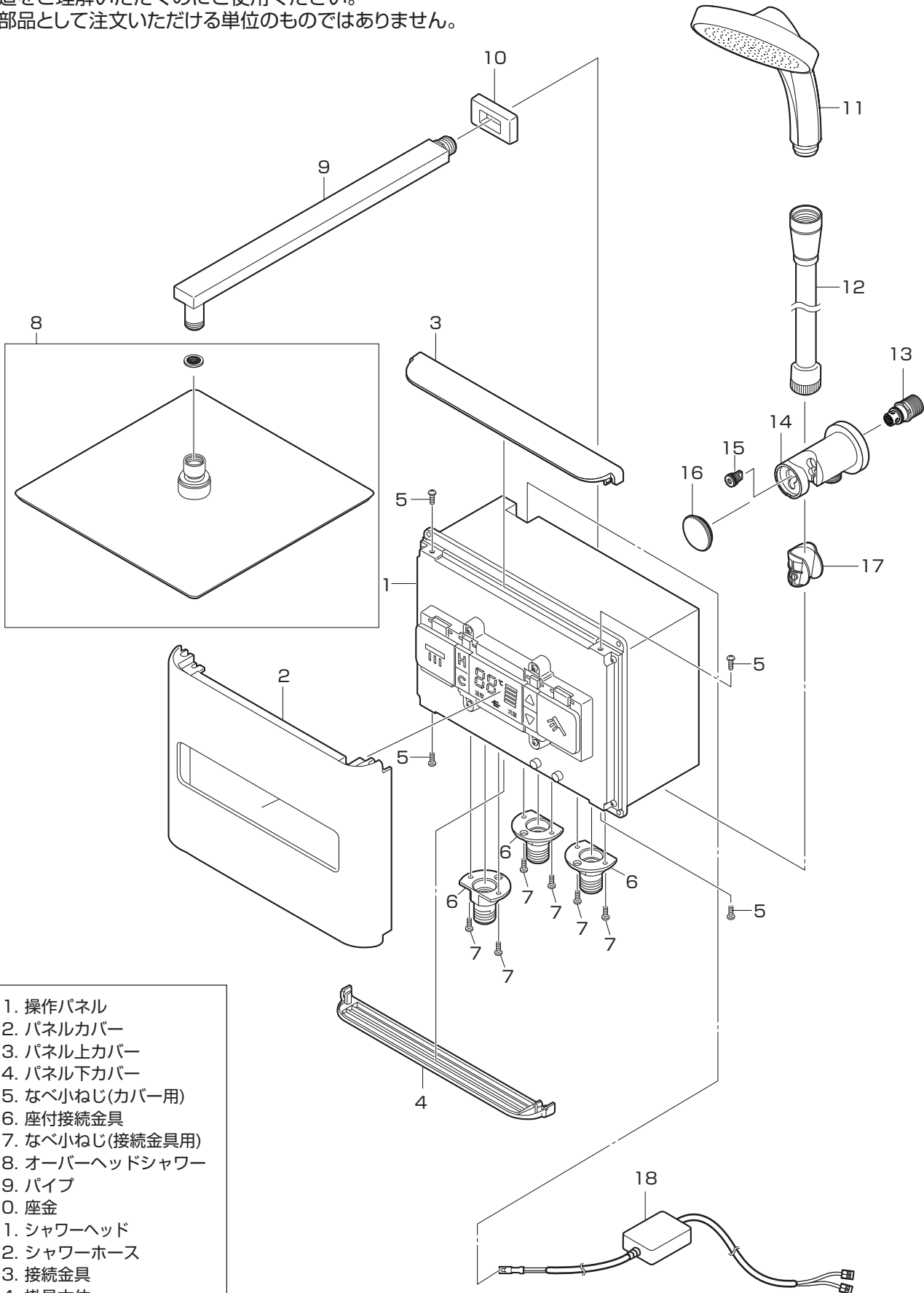
以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。「保証とアフターサービス」(P30)参照

- 修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。
止水してもシャワーから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。止水部品を交換してください。
シャワーホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。シャワーホースを交換してください。
シャワーヘッドの掃除をしても流量が少ない。	ストレーナにゴミ詰まりのおそれがあります。メンテナンスマニュアルを参照し、ストレーナを掃除してください。

こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。
 構造をご理解いただくのにご使用ください。
 ※部品として注文いただける単位のものではありません。



- 1. 操作パネル
- 2. パネルカバー
- 3. パネル上カバー
- 4. パネル下カバー
- 5. なべ小ねじ(カバー用)
- 6. 座付接続金具
- 7. なべ小ねじ(接続金具用)
- 8. オーバーヘッドシャワー
- 9. パイプ
- 10. 座金
- 11. シャワーヘッド
- 12. シャワーホース
- 13. 接続金具
- 14. 掛具本体
- 15. 止水キャップ
- 16. キャップ
- 17. インサート
- 18. 電源ユニット

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP23、定期的な点検についてはP24~25をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例：サーモカートリッジ・止水切替ユニット・電装部品・逆止弁・シャワーホース など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP27を参照してください。

〔補修用部品の供給期間〕

この製品の補修用部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
 - 訪問希望日

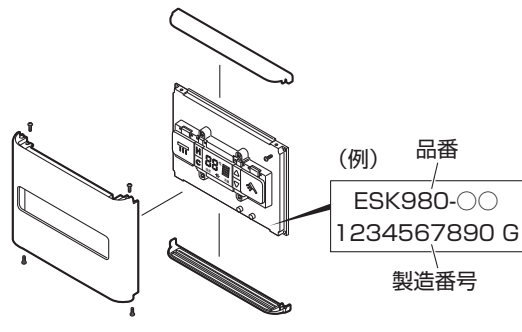
- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには、パネルカバーを外し、操作パネルの右側下部に貼付のシールをご確認ください。



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社までお問い合わせください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問い合わせ先 ☎0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		販売店 工事店	店名 住所
保証期間	対象部品 本体	期間(お買上げ日/お取付け日から) 2ヵ年		電話 ()
お買上げ日 (お取付け日)	年 月 日			
お客様	の名称 様			
	電話 ()			

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
 - ★ 補修用部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd